



つくば国際交流協会ニュースレター

# Link!

第7号

## Contents —もくじ—

- P1 **Hot Topic!**  
青少年交流
- P2 インタビュー企画「種まく人」  
つくば市長  
五十嵐 立青 氏
- P3 **Zoom Up!**  
「英語落語」と「ダンスで国際交流しよう」
- P4 Reports & Notice Board

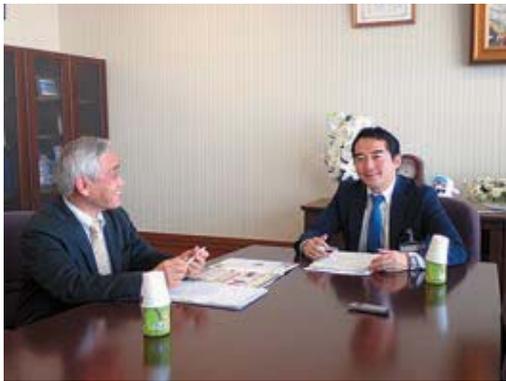
# Hot Topic!

## 青少年交流

**昨**年2017年8月24日から29日の3泊4日で開催した日韓青少年交流事業は2016年12月に韓国大田市（テジョン市）にホームステイした家庭の中学生15名（ほか引率3名）がつくばに来訪しました。およそ半年ぶりの再会です。つくばでは市内9中学校13家庭にホームステイしました。

今回のテーマの一つ、科学体験では、防災科学技術研究所のご支援のもと、防災体験プログラムを行いました。韓国では地震が少ないものの、土砂崩れは日本同様に起きていることから、簡易雨量計の製作を行い避難の目安を知ることや、大型耐震実験施設の見学や地震ザブトン体験、建物の揺れやすさマップを使って地震発生時にいる場所からどうやって安全に避難するルートを見つけるかなどを学ぶワークショップを行いました。また、JAXAの見学にも行きました。文化体験としては、そば打ち、浴衣の着付け、茶道体験を行ったほか、まつりつくばにも参加しました。また2泊のホームステイでは、各家庭でいろいろな“おもてなし”を計画していたようで、漫画や音楽など共通の話題で盛り上がったり、チェスやトランプなどのゲームを行ったり、買い物や牛久大仏を見に行ったりと楽しく過ごしていたようです。帰国後もメールやSNSなどで交流を続けていると聞いていて、交流の輪が広がっていくといいなと感じました。





種まく人 ~Seedfolks~

## つくば市長 五十嵐 立青氏

つくば市長であり、また、当協会会長でもある  
つくば市長と当協会理事長の対談を行いました。

**理事長：**五十嵐市長の市政が1年を経過し、また、新年を迎え国際都市つくば市で今後どのような国際交流を行えばよいか伺いたいと思ひまして、今回市長に御登場頂きました。市長は大学で国際政治を学ばれ、大学院でロンドンに行かれたと伺っていますが、どのような経緯で国際政治に関心を持たれたか、また滞在時の思い出を教えてくださいますか。

**市長：**国際政治に興味を持った原点はルーマニアのチャウシェスク政権が倒れた時です。小学5年生の時でしょうか、ニュースをずっと見ていました。最初は市民を広場に集めて「チャウシェスク万歳！」とやらせていたのですが、いつのまにか打倒にかわり、最後には銃殺されてしまいました。当時は細かいことまでは理解していなかったけれども、「民衆の力はすごい」という実感から国際政治に興味を持つようになりました。その後、ベルリンの壁の崩壊、ソ連の崩壊、旧ユーゴの内戦といった変化を、小学生から高校生にかけてずっと見ていました。その当時は外交官になろうと思ひ、国際政治を勉強して、海外に行きました。

最初に留学したスコットランドに着いた夜のこと、日本で寮のやり取りはしていたのですが現地の寮の担当者にきちんと伝わっておらず、あやうく野宿か、という状況でした。海外生活を送る上では、情報の取り方が非常に大切です。特に、外国人コミュニティは、海外生活で苦労を経験した世界各国の留学生が多いので、「ここではこういうサービスが無料で使える」といった有用な情報を友人間で共有して生活に役立てていることは多かったですね。

また、今まで自分は狭い思考の枠組みの中にいたと実感しましたね。同級生には社会人経験者が多く40歳くらいの同級生になんでここに来ているのか聞いたら「勉強しなくなったからだよ」とあっさり言われました。仕事を辞めて学び始める等、海外はキャリアパスが本当に多様で、我々がこうあるべきと思ひ込んでいるのは日本の社会で思ひ込まされているだけのものだと思ひました。今の日本の大学はだいぶ柔軟になったと思ひますが、それでも大学院で学ぶ社会人は多くないですよ。私が行ったロンドンの修士課程は圧倒的に政府等で働いてから入学する学生が多かったです。

**理事長：**つくば市はある意味コスモポリタンで、143カ国（平成29年10月1日現在）の外国人がいて、その中で『つくば市グローバル化基本指針』を出されましたが、どのような国際都市になるとよいと思ひれますか？

**市長：**私は、多様性はそのものに大きな価値があると思ひています。この人口規模で、これだけの



多種多様な国の人がいる街というのはつくば以外日本中どこにもありません。そう考えると、人口が少ない分だけ、逆に接点も多く、相手の価値観に触れ、自分と異なる他者と日常的に会う機会がある街とも言えます。世界中が閉鎖的になり排除の方向に向かっていますが、つくば市はこれだけ多様な都市ですから、寛容でありたいし、多様性の価値をもう一度示していきたいと常々思っています。

**理事長：**当協会では、病院にかかる際の通訳派遣や日本語のサポートなど市内在住外国人の生活支援事業と、市民との交流や中学生間の姉妹都市交流などの交流事業をやっておりますが、特に若い方たちに向けて、留学の御経験を踏まえて何かアドバイスをいただけますか。また、当協会や市民の国際交流の活動について御提言や御希望はありますか。

**市長：**異文化に触れることは早ければ早い方がいい

と思っています。英語を含めた多言語でコミュニケーションを取ることの難しさと楽しさを早くから感じられれば、物怖じしなくなると思います。つくばには留学生が多数いるので、学校現場も含めどんどん地域に入ってもらえれば、円滑なコミュニケーションのきっかけになると期待しています。そうして壁を早いうちから取り払ってほしいですね。

また、市の国際交流室だけで全ての支援を行うことは不可能ですから、つくば市国際交流協会の皆さんやボランティアの方々が、行政ができない部分を補っていることは大変ありがたいので、今後も密に連携・協力していきたいと思えます。特に、在住外国人の中心機関として更に機能するように、つくば市国際交流協会自体の認知度の向上に向けて、広く広報していきたいと思えます。

**理事長：**本日はお忙しいところ貴重なお話を聞かせてくださりましてありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

事業報告  
**ZOOM UP!**  
「英語落語」と  
「ダンスで国際交流しよう」

交流しよう」を行いました。

「英語落語」は、日本だけでなく海外でも講演されている福姫さんをお招きして、寿限無と動物園が披露されました。海外の方は、落語について知らないことも多いので、扇子や手ぬぐいの使い方、顔の向きによる登場人物同士の関係などの解

つくばで国際交流しよう会との共催で、「英語落語」と「ダンスで国際

説もありました。終始笑い声が絶えない講演になりました。

「ダンスで国際交流しよう」では、筑波小唄、筑波節、ヒップホップダンス、サルサダンス、ボリウッドダンス、ウズベキスタンダンス、ベリーダンスの演舞や体験などが行われました。ダンスによって独特のリズムやステップがあり、難しさもありましたが、踊り切った満足感もあったようです。各ダンスの歴史や文化などについても解説し、踊り文化の繋がりも感じられました。



# Reports

## 英語観光ガイドボランティア養成講座

外国の方々に、「つくばの魅力」等を英語で伝える観光ガイドボランティアを養成する当協会の人気講座も今年度で4回目となりました。今年度は、6月から7月の毎週金曜日に、全6回の講座として実施しました。講座を卒業し、ガイドボランティアに登録された方々は、まつりつくばや筑波山梅まつりでガイドなど徐々に活躍の場を増やしています。

## メディカル英会話講座

平成29年7月9日(日)にメディカル英会話講座という医療従事者向けの英会話講座を開講しました。この講座は、平成28年度新規開始事業で、好評のため、平成29年度も実施しました。病院受診の際の一連の流れ(受付から問診票の記入、医師の診察、支払や保険の説明、次回の予約)を英語対応できるようにするための、1回完結型実践英会話講座でした。



## 第4回英語スピーチ・プレゼンテーション大会2017

2017年12月2日(土)、3日(日)の2日間、筑波大学の留学生9か国14人、市内中学生を中心とした15組17人が参加しました。参加者は英語力、ボディランゲージ、絵、日本語などお互いに持っている能力を最大限に生かし、協力して原稿を作り上げ発表しました。今後彼らが、この経験をどのように生かしてくれるのか、とても楽しみです。



# Notice Board

## つくば市国際交流協会 賛助会募集!

賛助会では、協会の活動の趣旨にご賛同いただけるみなさまからの資金面でのご支援を募っております。

### 賛助会費

個人:1口 2,000円/年

団体:1口 10,000円/年

法人:1口 20,000円/年

平成29年度賛助団体及び法人  
(平成30年3月現在)(敬称略)

TIVONAの会、常陸興業(株)、一般社団法人つくば観光コンベンション協会、医療法人健佑会、(株)相澤建築設計事務所、朝日印刷(株)、(株)高田工務店、(有)光測量設計、浅野物産(株)、(株)大和田建設、ホテル松島、大和リース(株)、関彰商事(株)、(一財)研究学園都市コミュニティケーブルサービス。  
(法人会員13、団体会員1、個人会員71 合計85)

※その他運営面を支援いただく各種ボランティアがごいます。詳しくは当協会HPをご覧ください。

## 世界お茶のみ話のお知らせ

～一杯のお茶から世界が見える～ 世界お茶のみ話

今年度から始まった「世界お茶のみ話」は、様々な国の地勢、気候、歴史、文化、習慣、観光、現在の課題、日本やつくばとの関係について、知って、理解し、参加者全員で考える会にすることを目的として行っています。聴講者からは、食べ物のことや、日本で生活する中でみえてきた母国について、NGO活動のなかで体験したことなど様々な知見を得ることができたとの声があります。「世界お茶のみ話」は、毎月第3土曜日15:45～17:15、BiViつくば交流サロンにて開催します。講演者については、協会ホームページやfacebookなどでご確認ください。



編集・発行



(一財)つくば市国際交流協会

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-10-1 つくばイノベーションプラザ内

TEL:029-869-7675 FAX:029-852-5513

ホームページ: <http://www.inter.or.jp/index.htm> メールアドレス: [info@inter.or.jp](mailto:info@inter.or.jp)